

# 東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・デザイン・クラフト・システム情報	科目：	企業会計Ⅰ	単位数：	2	指導学年：	1
使用教科書	新簿記（実教出版）	副教材	反復式簿記問題集全商3級（実教出版）				

年間指導目標：

商業の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記の定義、目的を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>簿記で学習する帳簿へ記帳方法、決算書等の作成方法を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記の学習について、目的を理解し、企業の経営活動に関連づけて思考・判断してきちんと説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。</li> </ul>

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準					配当 時数	
				a	b	c	d	e		
1 学期	中間 考査	第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産 と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計 算書	(知)	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記の基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>資産・負債・純資産・収益・費用の種類、貸借対照表、損益計算書の構造や役割を理解している。</li> </ul>	○		○			12
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記を学ぶことの意義と必要性を考えることができる。</li> <li>資産・負債・純資産・収益・費用が何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断できる。</li> </ul>	○		○			
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられる。</li> <li>資産・負債・純資産・収益・費用、貸借対照表、損益計算書について関心を示し、把握しようとする態度がみられる。</li> </ul>				○	○	
1 学期	期末 考査	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表	(知)	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記上の取引の意味と仕訳の手順を理解している。</li> <li>仕訳帳と総勘定元帳の意味と記帳法を理解している。</li> <li>試算表の意味と作成法を理解している。</li> </ul>	○		○			12
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> <li>取引の分解と勘定記入、転記について適切に判断し、正確におこなえる。</li> <li>仕訳帳・総勘定元帳への記帳を適切に判断し、正確におこなえる。</li> <li>試算表の種類について思考し、適切に作成できる。</li> </ul>	○		○			
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸借平均の原理について関心を示し、把握しようとする態度がみられる。</li> <li>仕訳と転記に自ら進んで取り組もうとしている。</li> <li>記録を正確に行うことの大事さに関心を示している。</li> <li>試算表がなぜ必要か考え、その役割について関心を持ち、把握するような態度を示している。</li> </ul>				○	○	

2 学 期	中 間 考 査	第10章 現金・預金などの取引 第11章 商品売買の取引 第12章 掛け取引 第13章 手形の取引	(知) ・現金・預金、商品売買、掛け、手形に関する基本的な内容とその記帳法を理解して基礎的な技術を身に付けている。 ・3分法による記帳法や仕入帳・売上帳、商品有高帳に関する知識とその記帳法を理解している。	○		○			16
		(思) ・現金・預金、商品売買、掛け、手形の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。	○		○				
		(態) ・現金・預金、商品売買、掛け、手形の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしている。				○	○		
2 学 期	期 末 考 査	第14章 その他の債権・債務の取引 第15章 固定資産の取引 第16章 個人企業の資本の取引 第17章 販売費と一般管理費、税金の取引	(知) ・その他の債権・債務、固定資産、個人企業の資本、販売費及び一般管理費の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けている。	○		○			16
		(思) ・その他の債権・債務、固定資産、個人企業の資本、販売費及び一般管理費の取引等の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。	○		○				
		(態) ・その他の債権・債務、固定資産、個人企業の資本、販売費及び一般管理費の取引等に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしている。				○	○		
3 学 期	学 年 末 考 査	第18章 決算整理（その1） 第19章 8桁精算表 第20章 帳簿決算	(知) ・決算手続き、8桁精算表の意味を理解し、決算手続きに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・貸借対照表、損益計算書の作成方法を身に付けている。	○		○			22
		(思) ・なぜ決算整理を行うのか、なぜこのように整理仕訳を行うのかなどについて思考し、財務諸表を活用して企業の状況について判断し、決算結果を財務諸表に明瞭に表現できる能力を身に付けている。	○		○				
		(態) ・決算整理が企業の経営成績にどのような影響を与えるのかに関心をもち、自ら考える態度を示している。 ・貸借対照表、損益計算書からビジネスの諸活動を把握しようとしている。				○	○		
合計									78